


# TOTO リモデル便器施工説明書



この便器は従来の便器と施工方法が異なりますのでこの説明書をよく読んで施工してください。

## 安全のために必ずお守りください



施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の輪表示で区分し、説明しています。




















 一般的な指示	 一般的な禁止
--	--

## 注意

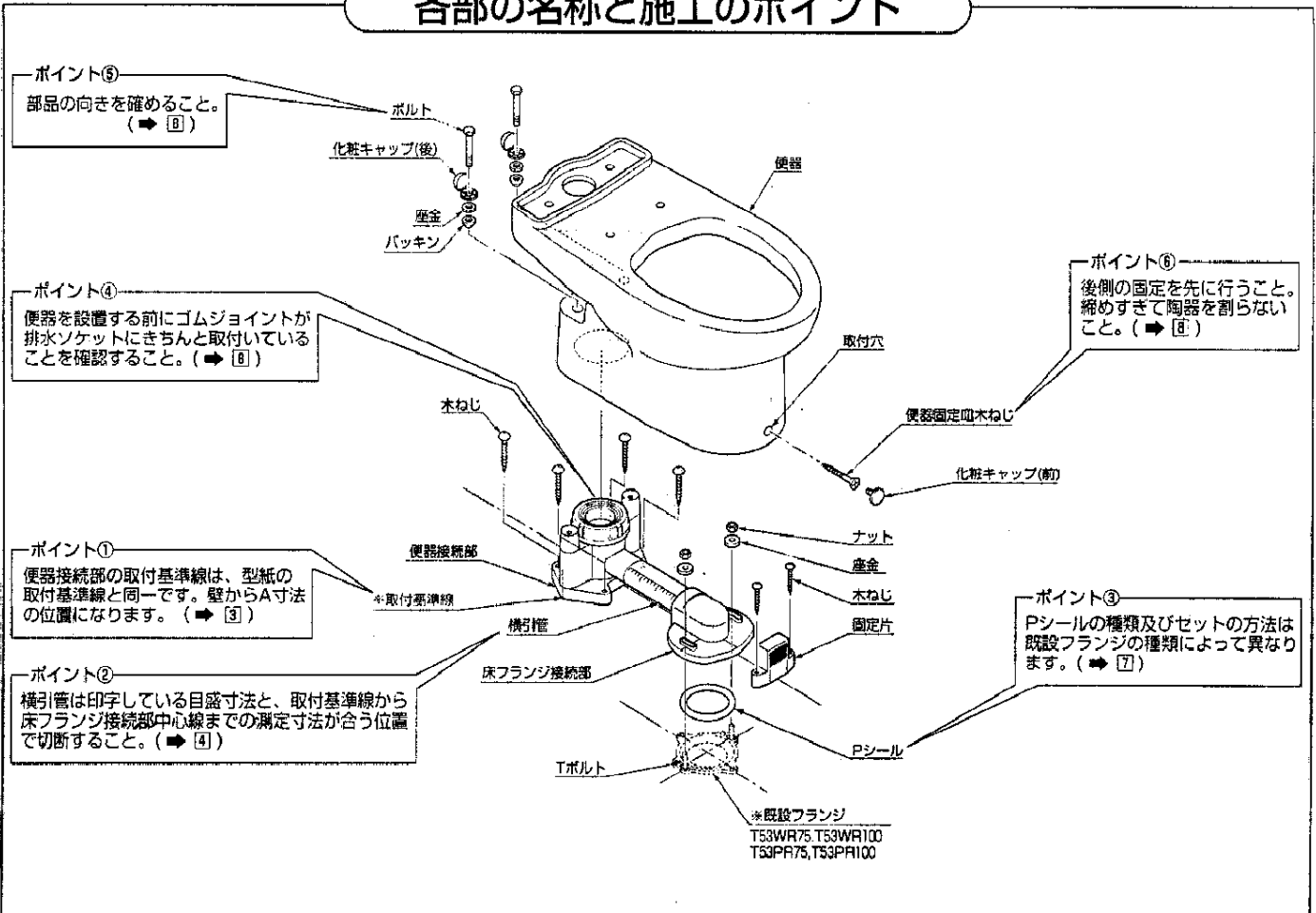
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品及び指定部品を使用してください。
	陶器に衝撃を与えないようにしてください。陶器が破損してケガをしたり、漏水のため、家財を汚す原因になることがあります。

## 開梱作業

※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

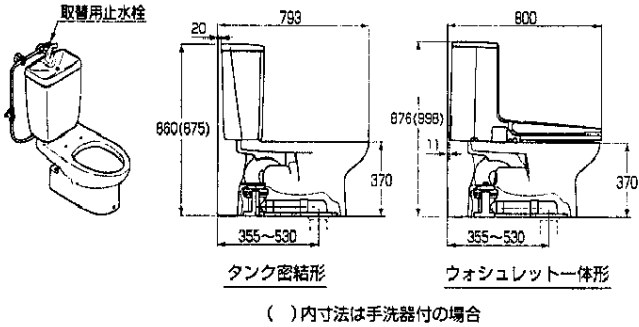
名称	個数	略図	備考
便器	1個		
排水アジャスタ			
便器接続部 (ゴムジョイント付)	1個		・補修品番 HH02002 (排水アジャスタ3部品)
横引管	1個		
床フランジ接続部	1個		TH696-1 (横引管のみ)
Pシール			
金属フランジ用	1個		・補修品番 TH633
樹脂フランジ用	1個		・補修品番 TH633-3
固定片	1個		
固定ねじ			
皿木ねじ	1個		
木ねじ (排水ソケット用)	4個		
木ねじ (固定片用)	2個		
Tボルト	2個		
座金	2個		
ナット	2個		
施工用型紙	1個		
施工説明書	1個	本紙	
化粧キャップ (前)	1個		
化粧キャップ (後)	2個		・補修品番 HH03003
ボルト	2個		(一式) H260
座金	2個		(前化粧キャップのみ)
パッキン	2個		

## 各部の名称と施工のポイント

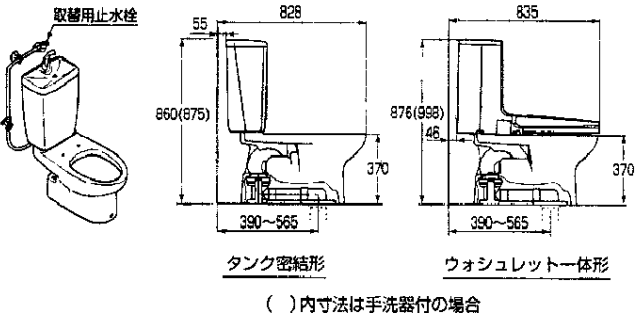


# 便器施工完成図

〈取替用止水栓がタンクと接触しない場合〉



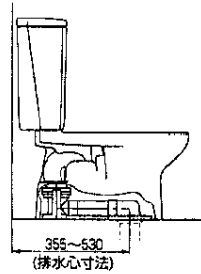
〈取替用止水栓がタンクと接触する場合〉



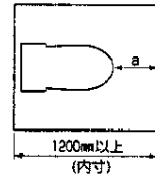
注) C730からの取替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため、タンクと壁とのすき間は密結形便器が30mm、ウォシュレット一体形便器が21mmとなります。

# 施工前のご注意

1. 取替対応可能排水心寸法



2. トイレブース奥行必要寸法



1200mm以下ですとa寸法が小さくなり、便器に腰掛ける際使用しづらくなります。

注) 1. 止水栓取付位置がタンクの裏側にありタンクと接触する場合は、便器を壁から離す必要があるため対応可能排水心ならびにトイレブース奥行必要寸法が異なります。

2. ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

# 取替用給水金具(別売)の使用可能範囲

別売でC14、C21、C420の取替用給水金具を準備しています。それらの使用可能範囲は下図の範囲内(斜線、黒)に給水取出しセンターがある場合です。ただし、上記3品番以外の便器からの取替えの場合は、別途現場手配いただくことになります。

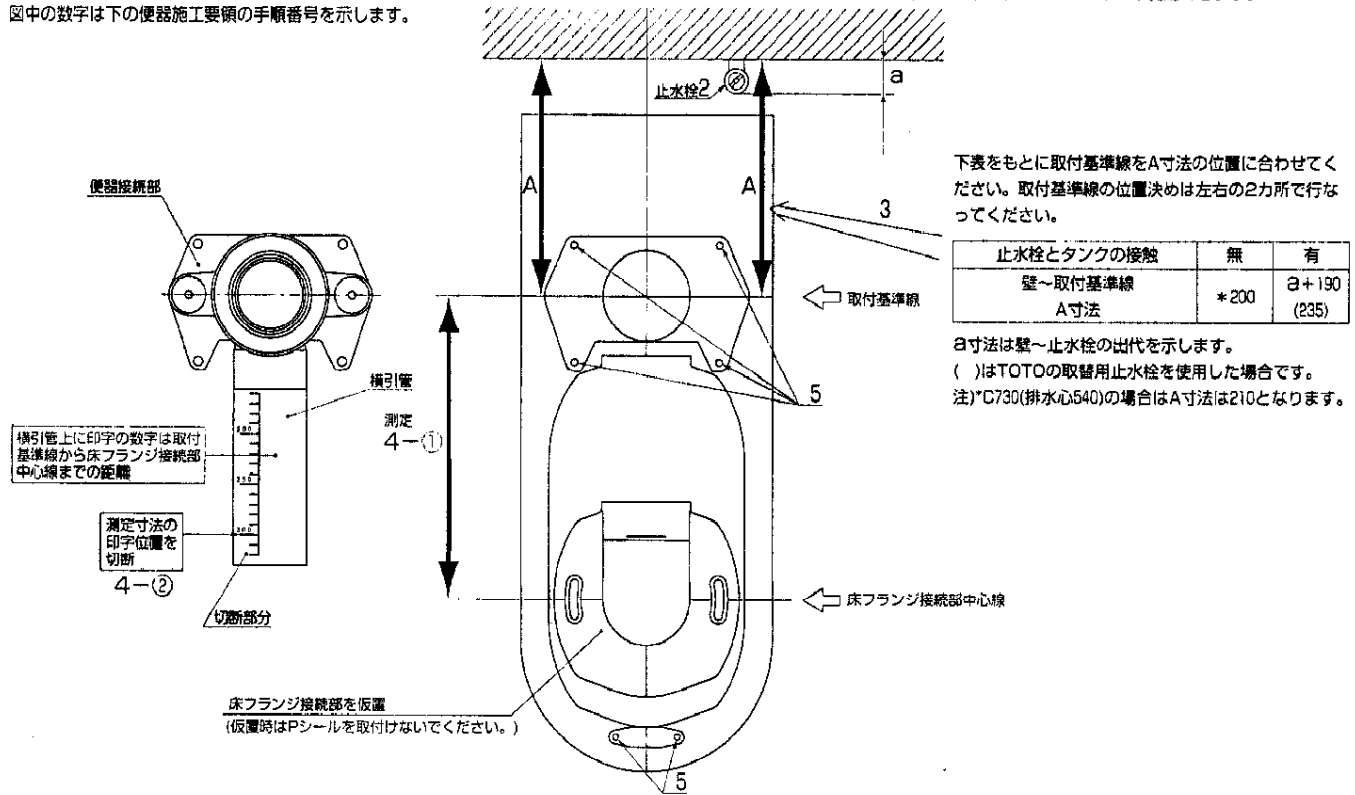
斜線 止水栓とタンクが接触しない範囲  
黒 止水栓とタンクが接触する範囲

リモデル便器	タンク密結形				ウォシュレット一体形	
	一般地用タンクの場合 ※タンクの給水位置がタンクの底面にあるタイプ		寒冷地(流動)タンクの場合 ※タンクの給水位置がタンクの側面にあるタイプ		手洗無	手洗付
既設便器	手洗無	手洗付	手洗無	手洗付	手洗無	手洗付
C14、C21	TS91FU (取替用止水栓)		TS791F1U (取替用止水栓)		TS91F1U (取替用止水栓)	
注) C21で黒範囲の場合は給水位置をタンクの接触しない位置へ変更してください。	「左記一般地用タンクの場合と同様」					
C420	取替用給水金具(別売)は不要です。 止水栓の向きを上→下に変えて、給水フレキホースにつないでください。		取替用給水金具(別売)は不要です。 既設止水栓を外して、機能部側同梱の止水栓と交換のうえ、給水フレキホースにつないでください。		取替用給水金具(別売)は不要です。 既設止水栓を外して、機能部側同梱の止水栓と交換のうえ、給水フレキホースにつないでください。	
	「現場調達」					

裏面にづく➡

# 施工用型紙と排水アジャスタの位置関係

同梱の施工用型紙は、排水アジャスタの横引管の切断位置を決めるのに用います。また、排水アジャスタの便器接続部と便器固定片の木ねじのけがきにも使用できます。図中の数字は下の便器施工要領の手順番号を示します。



下表をもとに取付基準線をA寸法の位置に合わせてください。取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行なってください。

止水栓とタンクの接触	無	有
壁～取付基準線 A寸法	*200	a+190 (235)

a寸法は壁～止水栓の出代を示します。  
( )はTOTOの取替用止水栓を使用した場合です。  
注)\*C730(排水心540)の場合はA寸法は210となります。

## 便器施工要領

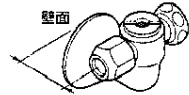
便器の施工、排水アジャスタの組立は便器同梱の施工用型紙をご利用ください。また、取替用止水栓の施工に当たっては、取替用止水栓の施工説明書をご覧ください。

### [1] 既設便器の取外し

■既設のタンクと便器を取外し、Pシールをきれいに取除いてください。その後、便器の中心線を床にけがいてください。

### [2] 取替用止水栓の取付け

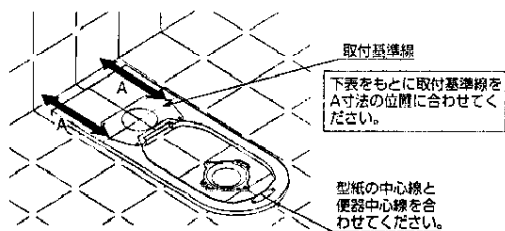
■既設の止水栓を取外し取替用の止水栓を取付けます。



\*別途現場手配の場合は  
止水栓の位置、前出寸  
法を確認してください。

30mmにしてください。

### [3] 取付基準線の位置合わせ



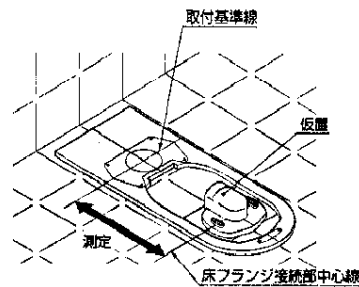
止水栓とタンクの接触	無	有
壁～取付基準線 A寸法	*200	a+190 (235)

a寸法は壁～止水栓の出代を示します。  
( )はTOTOの取替用止水栓を使用した場合です。  
注)\*C730 (排水心540) の場合はA寸法は210となります。

### [4] 横引管の切断

#### ①取付基準線から床フランジ接続部中心線までの寸法測定

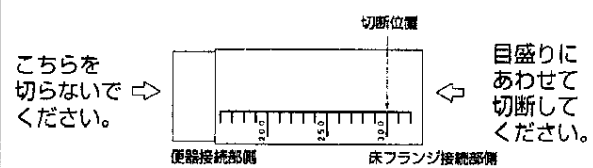
既設フランジの上に、床フランジ接続部を仮置きし、取付基準線と床フランジ接続部中心線との寸法を測定します。このとき、Pシールは取付けないでください。



#### ②排水アジャスタ横引管の切断

横引管上に印字している目盛寸法と測定寸法が合う位置で横引管をまっすぐに切断します。切断後、端部のバリを完全に取りのぞいてください。

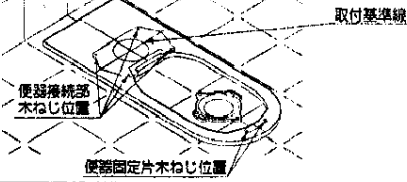
(例) 上図測定寸法が300mmの場合



注) 上図測定寸法が155mmの場合、横引管は不要です。便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください。

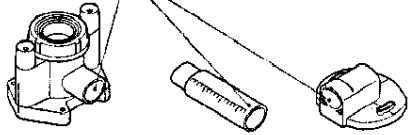
**⑤ 木ねじ穴のけがき、下穴あけ**

■取付基準線から壁までの寸法の位置決めを行った排水アジャスタの便器接続部と便器固定片の木ねじ位置をけがいて、下穴をあけます。



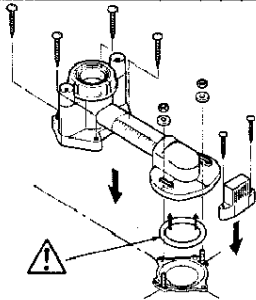
**⑥ 排水アジャスタの組立て**

塩ビ用接着剤を十分塗布して組立ててください。

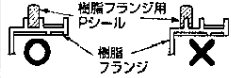


**注意** 横引管は最後まで、きちんと押込んでください。接着が不十分だと漏水の原因となります。

**⑦ 排水アジャスタ、便器固定片の取付け**



**注意**  
Pシール取扱い上の注意  
既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールをお使いください。  
なお、TOTO樹脂フランジの様に溝のあるタイプは先にフランジの溝にPシールをセットしてください。  
※溝にきちんとおさまっていないと漏水するおそれがあります。

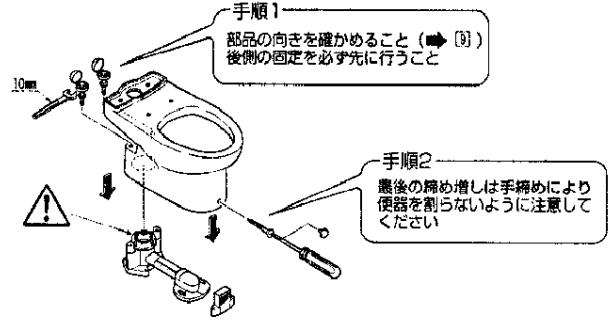


**⑧ 便器の取付け**

■便器排水口周辺のゴミや汚れを取り除き、排水口を排水アジャスタの便器接続部に差し込んでください。



便器を取付ける前に、ゴムジョイントが排水アジャスタの便器接続部にきちんと取付いていることを確認してください。きちんと取付いていないと漏水するおそれがありますので必ず、ゴムジョイントを押さえ込んで便器を取付けてください。

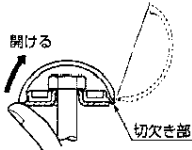


**注意** 後側の固定を必ず先に行うこと。前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から漏水するおそれがあります。

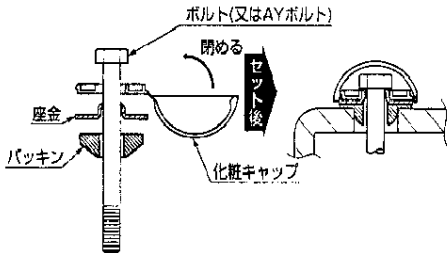
**⑨ 化粧キャップ付ボルトの構造**

**⑨-1 取付け**

■最初に化粧キャップを開けてください。開け方は、ねじを手で持ち切欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げてください。



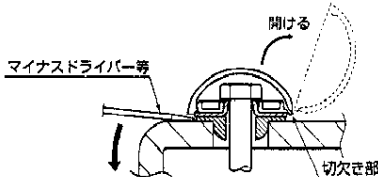
■ねじを取付ける前に、化粧キャップと座金の順番、向きを確認し、間違えないよう取付けてください。



■ねじを取付けた後は、化粧キャップを矢印の方向に曲げて「パチッ」と音がするまで押し込んでください。

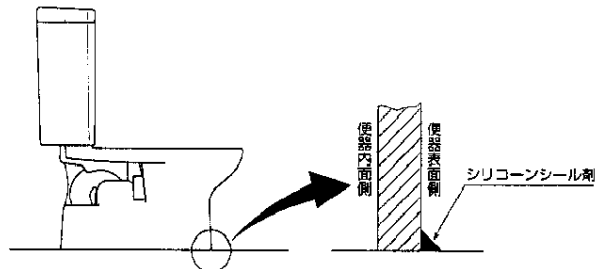
**⑨-2 取外し**

■施工後にねじを外すときは、マイナスドライバー等を使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押し込んで開けてください。



**お客様に快適に使っていただくためのポイント**

■便器下部と床の隙間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床のシミを作ったりする原因になりますので、便器下部周囲にシリコンシーラント剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。



**⑩ タンクの取付け**

■タンクの取付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書にしたがってください。